

Index

02 SECTION 01:エネクスグループの価値創造

- 04 価値創造のドライバー つなげるビジネスモデルと強みの拡大
- 06 基盤拡大と変革の歴史
- 08 価値創造プロセス
- 10 社長メッセージ

16 SECTION 02:中期経営計画「ENEX2030」

- 18 事業ポートフォリオの変革に向けて
- 26 ロードマップと指標
- 28 事業別戦略
- 38 CFOメッセージ

42 SECTION 03:サステナビリティの取り組み

- 44 気候変動への対応
- 49 エネルギーへのアクセス
- 50 人材戦略

54 SECTION 04:持続的成長を支える体制

- 54 ガバナンス体制の強化
- 56 役員紹介
- 60 コーポレートガバナンス
- 64 内部統制とリスクマネジメント
- 66 コンプライアンス
- 67 IR活動

68 財務データ・会社情報

- 68 財務・非財務ハイライト
- 70 11年間の財務サマリー
- 72 会社情報

将来の情報に関する注意事項

本レポートに記載されている当社グループの業績見通しなど、将来に関する情報は、現段階における各種情報に基づいて当社グループの経営陣が判断したものであり、実績は、為替レート、市場動向、経済情勢などの変動により、現在の見通しと大きく異なる可能性があることをあらかじめご承知おきください。

報告期間 2024年4月～2025年3月（一部期間外の活動も含みます）

対象範囲 伊藤忠エネクス㈱及び伊藤忠エネクスグループ会社

発行年月 2025年9月

ENEX REPORT 2025の編集方針

ENEX REPORTは、当社グループの持続的な成長に向けた企業活動と戦略性についてご理解いただくことを目的とし、各種ガイドラインを参考に、財務情報やサステナビリティ活動を含む非財務情報を統合して報告しています。2025年度は中期経営計画「ENEX2030」における2nd STAGE「投資戦略実行フェーズ」に移行するにあたり、投資家の皆様にとって関心の高い、事業ポートフォリオの変革に向けた投資戦略をいかに実行していくかの説明強化を目指しました。体制の確立、風土の変革は道半ばではありますが、伊藤忠エネクスの目指す姿についての解像度をこれまでよりも高めてご説明することで、投資家の皆様との対話の質を高め、今後の改善の糧としていければと考えています。忌憚なきご意見をいただければ幸いです。

IR・サステナビリティ推進室

社名の由来

2001年7月、創立40周年を機に社名を「伊藤忠燃料㈱」から「伊藤忠エネクス㈱」へ変更しました。「伊藤忠エネクス㈱」は英文で「ITOCHU ENEX CO., LTD.」であり、ENEXの“E”はエネルギー、エンドコンシューマー（お客様）及びエコロジー（環境）の“E”を表し、また“NEX”は次世代・将来を表す“NEXT”を意味しています。

ロゴに込められた意味

2005年10月に新しく制定したコーポレートマークは、青い地球と真っ赤な太陽をつなぐようにアルファベットの「e」が重なり合います。自然への畏敬と限りある資源を大切に思う心をテーマにしています。「e」のロゴは、energy & ecoを示すとともに、お客様（end-consumer）を大切にする想いも含んでおり、“人與人”“人と社会”をつなぐコミュニケーションのカタチとして表現しています。



表紙デザインについて

本デザインは、伊藤忠エネクスグループの顧客基盤を中心とした堅固な事業基盤を土台に、そこから有機的に派生していく新規ビジネスの創出と成長を象徴的に表現しています。

既存事業に付加価値をもたらす、また他領域とのシナジーが発揮できる新規ビジネスの創出によって、グループ全体の事業ポートフォリオを進化させる様子を可視化しています。